

「カトリーナ復旧努力に学ぶ スーパー伊勢湾台風克災戦略」のご案内

- ◆ カトリーナ災害後の復興状況は？
- ◆ ゼロメートル地帯での避難計画は？
- ◆ 災害専門家から学ぶものは？

- 本年は、東海地方に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風から50年の節目の年にあたり、災害犠牲者ゼロに向けた取り組みを展開しています。
- 平成17年8月には、米国南部のニューオリンズで超大型のハリケーン・カトリーナによって死者・行方不明者が2,500名を超える大きな災害が発生しました。ハリケーン・カトリーナは規模や風速、更には被害を受けたニューオリンズ市の地形が濃尾平野と共通する点が多くあります。
- このため、(社)中部建設協会では、5年目にあたる本年9月に調査団を派遣し復興状況や今後の防災対策に対する施策等の調査を行ってきました。
- 今般、調査団を招き災害犠牲者ゼロを目指した地域防災のための報告会を下記のとおり開催しますので、お忙しい季節とは思いますが、多くの皆様ご参加いただきますようご案内申し上げます。

◇開催日時…… 平成22年1月14日(木)

18:30～20:20 (予定)

(受付開始 18:00)

◇場 所…… 桑名市 長島公民館2階大ホール

◇内 容



写真：カトリーナによる浸水状況

[DVD上映] 未来のために・・・語り継ぐ伊勢湾台風(平成21年9月作成)

[調査報告]

- ◆ 「ハリケーン・カトリーナと伊勢湾台風」 平野 久克氏 元長島町長
- ◆ 「専門家が指摘するカトリーナ復旧に学ぶポイントは？」
辻本 哲郎氏 名古屋大学大学院教授

◇参加定員：最大250名(事前の申込みは不要です)

※但し、定員を超えた場合は「立ち見席」となりますのでご了承願います。

◇お問い合わせ先

〒511-0002 三重県桑名市大字福島465

木曾川下流河川事務所 事業対策官 みぞぐち 溝口 (TEL. 0594-24-5711)